**※赤い字の部分は必須記入事項です。記入漏れがあると届出が受理されない可能性があるのでご注意ください。**

**※プラットフォームに参加する法人・個人は、原則として、産学官連携協議会の会員でなければなりません。まだ会員でない場合は、速やかに会員登録をお済ませください。**

**※Wordファイルのままメールにて送付下さい。捺印・郵送は不要でございます。**

研究開発プラットフォーム届出書

令和○○年○○月○○日

「知」の集積と活用の場産学官連携協議会事務局　御中

○○○○研究開発プラットフォーム

プロデューサー人材（又はチーム） 研究　太郎

　研究開発プラットフォームを設立したので、「知」の集積と活用の場産学官連携協議会組織規則第６条の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

１　研究開発プラットフォームの目的

（例１）○○について研究開発に取組み、△△への商品化or事業化を目指すことを目的とする。

（例２）□□についての研究開発を行い、技術を☆☆といった製品化することで

社会実装を図り、我が国の××分野の振興に寄与する。

２　研究開発プラットフォームの名称

○○○○研究開発プラットフォーム

３　研究開発プラットフォームのプロデューサー

○○（所属・役職）○○　研究　太郎

TEL:○○-○○○○-○○○○

e-mail:○○○○@○○○.jp

４　主たる事務所の所在地

○○県○○市○○　○丁目○番地○号

５　設立時の会員の名称又は氏名及び住所

※法人・団体会員、特別会員については正式の組織名称を、個人会員については所属組織名称・役職・氏名を記入してください。

※法人・団体会員、特別会員の記載は組織名のみとし、代表者名等の個人名は並記しないでください。

※プラットフォームに参加する法人・個人は、原則として、産学官連携協議会の会員でなければなりません。まだ会員でない場合は、速やかに会員登録をお済ませください。

（１）株式会社○○

（２）農業生産法人○○

（３）国立大学法人○○

（４）国立研究開発法人○○

　・・・・

６　プラットフォーム管理運営機関及び担当者

※管理運営機関は法人格を持っていることが前提です（任意団体は担当できません）。

株式会社○○

（担当者）○○　○○

TEL:○○-○○○○-○○○○

e-mail:○○○○@○○○.jp

７　主な事業内容

（１）○○の商品化・事業化を念頭に置いたビジネスモデルの構築

（２）○○の商品化・事業化のための研究戦略、研究計画の策定

（３）○○の商品化・事業化に関連する知財情報の調査及び知財戦略の策定

（４）研究成果等の情報発信及び新たなプラットフォーム会員の勧誘

（５）その他「知」の集積と活用の場産学官連携協議会の活動への協力　等

※（４）から（５）は必要に応じて記載してください。

※ 現時点での具体的な研究開発の内容及び目標等についての資料（Ａ４判で1枚程度）を作成し、添付してください。

８　活動予定期間

令和○○年○月～令和○○年○月

* 本届出書提出後に活動予定期間を変更する場合は、年度末にご提出いただく活動報告書に変更後の活動予定期間を記載してください（個別に事務局へご連絡いただく必要はございません）。

９　組織等

（１）研究開発プラットフォーム会則

・別添のとおり。(※体制図があれば別途添付してください)。

（２）プロデューサーチームの構成及び役割

（構成員の略歴・能力等は様式第１号別添のとおり）

　　①　プロデューサー　研究　太郎

　　　　・事業総括・マネジメント、予算調達の責任者

　　②　コーディネーター①　調整　太郎

　　　　・農業分野を中心とした技術・生産者のコーディネート

　　③　コーディネーター②　○○　○○

　　　　・○○分野の技術の総合調整、不足技術の他社からの調達

　　④　研究代表者①　○○　○○

　　　　・○○分野の研究開発の統括

　　⑤　研究代表者②　○○　○○

　　　　・○○分野の研究開発の統括

　　⑥　知財マネージャー・弁理士　○○　○○

　　　　・知財マネジメントの助言・指導

※②から⑥は必要に応じて記載してください。

10　研究開発プラットフォーム設立の経緯

＜ケース１＞「知」の集積と活用の場産学官連携協議会の活動を通じて設立された研究開発プラットフォーム

　令和○年○月○日

　　・○○セミナーに参加。○○を○○。（詳細は、別紙○のとおり。）

令和○年○月○日

　　・○○ワークショップに参加。○○を○○。（詳細は、別紙○のとおり。）

令和○年○月○日

　　・設立時のメンバーで会議を開催。○○研究開発プラットフォームの設立を決定。（詳細は、別紙○のとおり）

＜ケース２＞その他のプロジェクト研究等から設立された研究開発プラットフォーム

　令和○年～令和○年　JST「○○○○事業」

　　　　　　　　　　　・○○○○のメンバーにより、○○○○研究の取組を実施し、○○の成果を創出（予算額○○百万円）。

　令和○年～令和○年　NEDO「○○○○事業」

　　　　　　　　　　　・○○○○のメンバーにより、○○○○研究の取組を実施し、○○の成果を創出（予算額○○百万円）。

　令和○年～令和○年　農林水産省「○○○○事業」

　　　　　　　　　　　・○○研究の取組を実施し、○○の成果を創出（予算額○○百万円）。

（様式第１号別添）

プロデューサー人材（チーム）の略歴及び能力

|  |  |
| --- | --- |
| １．プロデューサー人材（チーム）の略歴・実績 | |
| プロデューサー  研究　太郎 | ○○年○月　○○企業　研究開発部  ○○年○月　○○企業　統括事業部  　　　　　　・○○の商品化を実現。○○億円の売上げを達成。 |
| コーディネーター①  調整　太郎 | ○○年○月　○○企業　研究開発部  ○○年○月　○○企業　統括事業部  　　　　　　・○○の商品化を実現。○○億円の売上げを達成。 |
| コーディネーター②  ○○　○○ | ○○年○月　・・・・・・・・・・ |
| 研究代表者①  ○○　○○ | ○○年○月　・・・・・・・・・・ |
| 研究代表者②  ○○　○○ | ○○年○月　・・・・・・・・・・ |
| 知財コーディネーター  ・弁理士  ○○　○○ | ○○年○月　・・・・・・・・・・ |

※コーディネーター①②、研究代表者①②、知財コーディネーター・弁理士の欄は必要に応じて記載

|  |  |
| --- | --- |
| ２．プロデューサー人材（チーム）の能力について | |
| ①人的ネットワークと商品化・事業化の実績 | ○・・・・・・・・・・・・・・・ |
| ②農林水産・食品産業に対する理解と意欲 | ○・・・・・・・・・・・・・・・ |
| ③市場・技術・知財等に関する知見とビジネスモデル開発力 | ○・・・・・・・・・・・・・・・ |
| ④研究開発の評価とマネジメント力 | ○・・・・・・・・・・・・・・・ |
| ⑤公平・中立性の担保と地域に縛られない事業展開 | ○・・・・・・・・・・・・・・・ |